

令和3年度 学校における働き方改革取組事例集

とくしまの学校における働き方改革プラン（第2期）の推進



徳島県教育委員会教育政策課
(働き方・発信戦略担当)

この事例集を参考にいただき、各学校・各教育委員会における働き方改革の取組に工夫を加えながら、更に推進していただけると幸いです。



取組の柱《1》タイムマネジメントの徹底 退勤時刻の明確化

「チーム城東 カエルボード」の設置 (徳島市城東中学校)

タイムマネジメントを意識した働き方改革のために、退勤予定時刻を明示している。

- 帰る時刻を意識した働き方ができるようになってきた。
- 退勤する際は、退勤を示す場所（ボードの水色部分）に磁石を貼るので、学校にいないか、一目で確認できる。

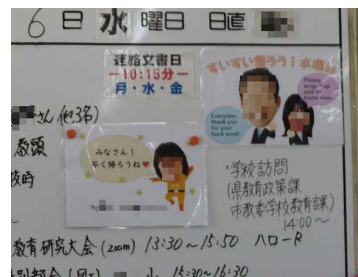


出勤時に、教職員の氏名を書いた磁石を退勤したい時間帯に貼る。退勤時刻を宣言し、見える化する。

ノー残業デー（すいすいかエル水曜日）の設定 (徳島市新町小学校)

毎週水曜日に、定時退庁を促すメッセージカードを職員室のホワイトボードに掲示している。水曜日の日直になった教職員、校長・教頭の写真入りメッセージカードが掲示される。

- お互いに声をかけ合うなど、退勤しやすい雰囲気づくりができている。
- タイムマネジメントを意識することで、優先順位を付けて、効率的に仕事に取り組むことができている。

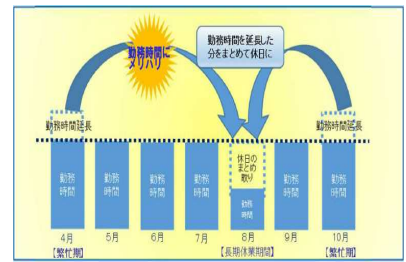


「みなさんはやく帰ろうね」日直の先生や校長先生、教頭先生のメッセージ入りカードが掲示される。

1年単位の变形労働時間制とは・・・

1か月を超え1年以内の期間を平均して1週間あたりの正規の勤務時間が38時間45分となること等を条件として、業務の繁閑に応じ勤務時間を配分することを認める制度

1年単位の变形労働時間制の活用イメージ



多忙な時期に制度を活用して、休日をもとめ取り

(徳島県立みなと高等学園)

併せて年休を取得すれば、休日のまとめ取りも可能となる。

みなとモデル (前期)

- 対象期間
【4月8日から8月31日まで】
- 延長した勤務時間
【8時30分から17時45分まで】
- 休日の算出方法
【1日0.5時間延長×31日間
= 15.5時間 (2日分の休日)】
- 学校閉庁日 (夏季休業期間) に、この2日分の休日を取得

1年単位の变形労働時間制を利用しての感想

- 多忙な時期なので、退庁時刻を超えても必要な業務のために残っていたが、延長して働いた分を、「代休」のような形で時間を取り戻すことができるので、良い制度だと思う。取得した休日に、家族と過ごす時間が増えて良かった。
- 夏季休業中に休日が増えた感じ。この休日は、自分の資格取得のために使った。次回もこの制度を利用し、時間を有効に活用したい。

負担にならない時間の貯金をしている感じです。後期 (休日は、冬季休業中に設定) には、7人の先生方が制度を利用する予定です。【教頭先生より】



取組の柱《1》タイムマネジメントの徹底 及び 取組の柱《2》業務改善の更なる推進

徳島型メンター制度の活用 その①

「チーム鳴門東」教職員間で学び合い、支え合う環境づくり

(鳴門市鳴門東小学校)

【導入への背景】

- 20～30代の若手教員が8割以上で、人材育成が喫緊の課題であった。
- 意欲的な教員が多く、互いに学び合い高め合いたいという雰囲気があった。
- 若手教員の育成が学校力を高めるという思いが、管理職や研修主任にあった。



経験年数の少ない教員が多いことから管理職や研修主任が相談役となり、一緒に進めるスタンスを取った。

【メンター研修 (わかめ) の計画】 (一部抜粋)

日時	研修内容・担当の先生	場所
10月1日 (金) 15:40～16:00	「お話の絵の指導」について (担当: A先生)	多目的室
11月22日 (月) 15:40～16:00	「自分の考えや思いを伝え合える学級づくり・授業づくり」について (担当: 教頭先生)	多目的室
12月7日 (火) 15:40～16:00	「音読指導の基本」について (担当: B先生)	多目的室
1月14日 (金) 15:40～16:00	「教室環境」について (担当: C先生)	多目的室
2月4日 (金) 15:40～16:00	「生徒指導」について (担当: 校長先生)	多目的室

- ・教職員の自主性を尊重
- ・無理のない計画
- ・研修の開始時刻の厳守
- ・時間は20分間
- ・若手教員のニーズに沿った内容などに配慮



「お話の絵の指導」用具や材料の紹介

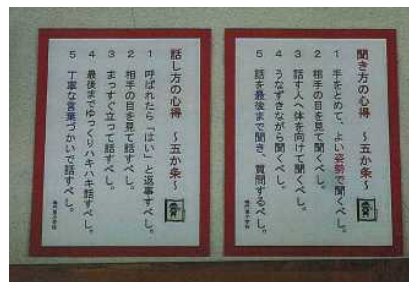
先生方からのご意見

【メンターから】

- これまでの授業実践を紹介したり、授業で心がけていたことを共有したりしたことで、自分自身、新しい考えをもてたり、指導法について改めて考えたりすることができた。

【メンティから】

- 子どもの実態から、「聞き方・話し方の心得～五か条～」を作成し、先生方の共通理解のもと、指導に生かすことができた。
- 「絵の指導」について、絵画指導の基本や心構えが学べた。



「聞き方・話し方の心得～五か条～」すべての教室に掲示し、全校で一斉に取り組んでいる。心得には、先生方の願いが込められている。

こんな効果が！

- 本当に学びたいことを「気軽に」「本音で」聞き合える。
- 教職員個々の得意技を他の先生方のために活かそうとする教職員が増えた。
- 職員室の風通しが良くなり、何事でも報告・連絡・相談ができるので、困りごとの共有や、それぞれの先生方の仕事量軽減、様々な問題を未然に予防できることにつながっている。
- 教職員間に学び合い、支え合う環境が構築され、校内研修でも活発な意見交換や授業実践力の高まりが感じられた。



職場の雰囲気良くなり、誰もが子どものために「何ができるか」「何をすべきか」を考えるようになった。「働きがいのある」「働きやすい」職場の土台づくりが、働き方改革につながっている。

取組の柱《1》タイムマネジメントの徹底 学校業務支援システムの活用について

【グループウェアの機能】

- ・在校等時間が把握できる出退勤管理システム
- ・教職員一人一人に割り振られた電子メール
- ・情報共有を図るための掲示板
- ・誰が確認したのかが分かる回覧板
- ・会議室、特別教室等の施設予約



グループウェアの活用について (石井町石井中学校)

業務改善につながっています！

- 昨年度まで、出退勤の時間管理はエクセルファイルで作成していたが、システムで集計がしやすくなった。
- 電子メールは、個人にも割り振られたので、使いやすい。情報の共有、異動しても使えるなど、便利になった。
- 「掲示板」機能により、職員朝会で使用する資料を掲示でき、会議自体の時間短縮やペーパーレス化につながった。
- 「回覧板」機能は、だれが確認したのかが分かるのでどこまで情報が共有できたか、把握できる。
- 「設備予約」でよく利用する会議室やWeb会議用機器の予約ができるので、重複して予約してしまうことを防げる。



掲示板に資料をあげれば、印刷しなくてもすぐに情報共有ができる。



出退勤管理システムで、在校等時間が「見える化」し、時間外在校等時間を意識した働き方ができるようになった。

【校務支援システムの機能】

- ・生徒の出欠管理（日単位・月単位）
- ・通知表管理（所見、教科別評価等）
- ・成績管理（定期テスト、実力テスト等で使用）
- ・学校日誌（天気、日直、行事の記入）
- ・保健管理（保健日誌、来室記録、通知文書）
- ・進路管理（進路に関する内容）



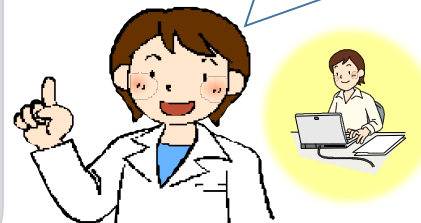
校務支援システムの活用について（石井町石井中学校）

機能を使いこなせば、こんなに便利!!

- 基本データを入力すると、転記によるミスやチェックに要する時間が減り、とても**効率的**である。
- 通知表は、必要な項目を選択し、学校・学年独自に**レイアウト**できる。
- 保健日誌では、生徒の**来室記録**を活用している。また、保護者への**通知文のひな形**があり、入力したデータが反映されることで、**通知文作成にかかる時間が短縮**できた。
- V P Nルータを利用することで簡単に接続できるようになった。ネットワークが同時に使用でき、**使いやすくなった**。
- 定期テストや実力テストの結果を入力できるので、**成績管理がしやすくなった**。

学籍管理、学級編制、時間割管理、成績処理、出欠管理等、これまで手書きで入力していたものがデジタル化された。

健康診断や歯科検診等、データを入力すれば、生徒個人の健康診断票ができるし、保護者への手紙もすぐに作成できるので、とても効率的です。事務的な仕事に使っていた時間を生徒に対応する時間に取れるので、とてもありがたいです。気持ちにゆとりがもてます。【養護教諭より】



共有フォルダに、共通したファイル名で保存

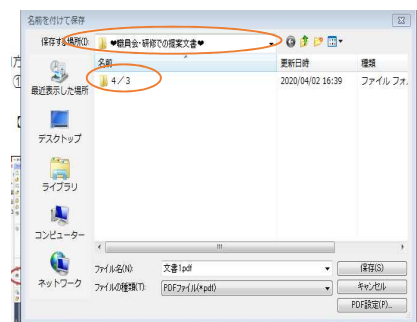
（徳島市新町小学校、三好市立箸蔵小学校）

- 各種会議で説明する資料は、ネットワークの共有フォルダに共通したファイル名でPDF形式で保存する。
- 保存したファイルを各自のPCで確認しながら会議を進めている。



ペーパーレス化が進むと、先生方の机の上も以前よりもかなり整理された。（新町小学校）

- タブレットを活用したZoom会議やTeams会議を実施し、**会議のスリム化や効率化**が図られた。
- これまで印刷製本にかかっていた**手間と時間、経費が削減**となり、**大変メリットのある取り組み**になっている。
- 紙媒体の方が活用しやすい資料は、**両面印刷や裏紙への印刷**を行い、**使用**している。

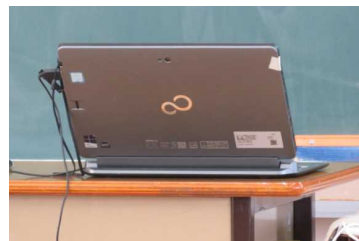


会議を実施する日付の入ったフォルダに保存する。会議終了後は、担当者がオリジナルのファイルを修正し、保存する。（箸蔵小学校）

電子黒板を活用した授業改善の取組

(徳島県立吉野川高等学校)

吉野川高等学校では、日常的にICTを活用できる電子黒板システムを新設し、これまでの環境と連携して、学びの質を高める授業での効果的なICT活用方法についての実践的研究を行い、その成果を広く普及している。



教師用タブレット端末から様々な教材が提示できるようになった。

電子黒板を活用するとこんなメリットが！

- 板書する時間を短くし、より**具体的な説明**を行う時間が多く確保できる。
- 授業で地図や図形を提示する際に、手書きで示すより**見やすい**し、**電子ペン**で書き込みながら説明ができる。
- 映し出した映像(動画)**のポイントとなるところで教員が説明を加えることによって、学んだことをより深められる。
- 授業用支援アプリケーションソフト**を使用し、教科書の内容や生徒間の意見の集約等がより分かりやすく説明できる。



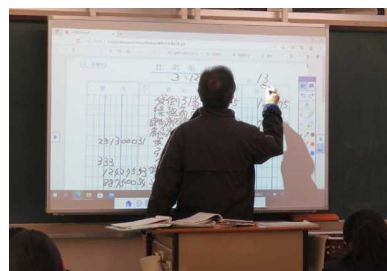
電子黒板だと補助線のみを消すことができる。以前は、もとの図形を消さないために、図形の上にクリアファイルを寄せ、上からマーカーで補助線を引いていたようだ。

8

「やってみたら、便利！」を実感することが、普及のポイント

教材をデジタル化すると、こんなに便利！

- 共有フォルダ**に教材を保存しているので、授業の準備時間の削減につながっている。授業後に教師間で教材を見直し、**よりよいものへと改善**している。
- 作成したプリントはデータ化しているので、**電子黒板ですぐに投影**し、授業を開始できる。
- 電子黒板や1人1台端末を活用することで、教科書やプリントがなくても、**既習内容について振り返ることができる**。
- 生徒間でワークシートを共有**すれば、クラス全員の作業内容が一つのシートに反映される。
- 紙ベースのものをデジタル化する「移行期間」は作業が多くて大変だったが、活用できる環境が整うと、**授業にとっても有効**であり、また、**働き方改革**につながる。



商業科は、細かい表が多い。デジタル化されたひな形の表に電子ペンで書き込んでいくので、説明がとてもしっかりしやすい。

ICT機器の活用によって創出された時間

- 効率化が図られ、**生徒と向き合う時間**が増えた。以前より、きめ細かい生徒指導に取り組むことができている。
- 授業準備にかかる時間が削減され、以前より早く帰宅できるようになった。**家族と過ごす時間**が増えた。



アナログとデジタルのベストミックス。学力向上のためには、教師の「授業設計力」を更に磨く必要がある。

9

スクール・サポート・スタッフの活用 (鳴門市大津西小学校)

- 月・火・木・金の週4日で、午前9時から正午までの勤務
- 学習プリントや書類のコピー、手紙の配付、消毒作業、カーテンの修繕等

○学習プリントの印刷、教具づくりのサポートにより、**教材研究や児童理解の時間**に使えるたり、**子どもと向き合える時間**が増えたりしたという声が先生方から届いている。



手紙の配付の様子。元銀行員ということもあり、手紙を数えるスピードがとても速い。

学校図書館サポーターの活用



- 毎週金曜日の午前10時から午後1時30分までの勤務
- 本の貸し出しや図書室の掲示、新しい本の選定、読み聞かせ等

○学校図書館サポーターが、本の貸出の処理をしてくださるので、その間に担任教師が子どもといっしょに読みたい本を選ぶことができ、**子どもと関わる時間が増えた**。



貸出や返却の手続きの様子。他にも、図書室に来た子どもたちといっしょに本を探したり、興味のある本の読み聞かせをしたりして、子どもたちと関わっている。

G I G Aスクールサポーターの活用 (徳島県立鳴門渦潮高等学校)

【主な業務内容】

- タブレットのトラブル対応
- 1人1台端末を活用した授業の相談、補助

【活動スケジュール】

- 1か月に、4～5校を訪問(1日に1～2校)
- ※取材日は、鳴門渦潮高等学校を訪問
- 業務にあたる時間帯は、10:00～17:00

- ・G I G Aスクールサポーターは、**専門的な知識や技術**をもっているため、教職員は大変助かっており、**業務の負担軽減**につながっている。
- ・1人1台端末の効果的な使い方について**気軽に相談**できる。
- ・1人1台端末の活用の仕方に関する会話が増え、先生間の**コミュニケーションが活性化**した。
- ・生徒や保護者対象のアンケート、生徒会の役員選挙等にも1人1台端末を使用し、**ペーパーレス化や集計業務の軽減**につながっている。



端末の使い方について生徒からも質問があり、即座にサポートに入る。



専門的な分野のサポートを受け、現場の先生方の負担が軽減されている。

部活動指導員（オーケストラ部）の活用 (徳島市徳島中学校)

- 土曜日の午前9時から午前11時30分までの勤務
※平日に指導することもあり（1時間程度）
- 楽器の技術指導や合奏時の注意点等の指導

○継続して指導にあたっていただけるので、生徒もどんどん上手になっている。学校の事情によっては、指導したことがない部活動の顧問になるかもしれないので、専門的な知識と指導力のある部活動指導員がいれば、**心の負担軽減**につながる。



顧問の先生の専門は、合唱指導なので、部活動指導員に専門的な指導をしていただけることは、とても心強いし、ありがたいと話されていた。

外部指導者（女子ハンドボール部）の活用 (徳島県立鳴門高等学校)

- 水曜日（2時間程度）・土、日曜日（3時間程度）
- ボールの投げ方、体の使い方等の基本技術、あいさつや声出し等の態度面の指導、実戦での戦術指導

○外部指導者に、**ゲームの進め方や戦術等の専門的な指導**をしていただけるので、とても安心している。また、外部指導者以外にも、ハンドボール部の卒業生（外部指導者の教え子）が指導に来てくれたり、けがをした生徒にリハビリのメニューを考えてくれたりするので、とてもありがたい。



部員の一人は、「初心者なので、シュートするまでの走り方やボールの投げ方等、実際の体の動かし方を見せていただけるので、とても分かりやすい。」と、とても喜んでいました。

部活動指導員（男子体操部）の活用 (小松島市小松島中学校)

- 月・火・水・金（それぞれ2時間程度）
土、日（どちらか一日に3時間程度）
- 技術、筋力トレーニング、構成（フォーメーション）の指導

○部活動指導員に、部活指導をお願いしている間に、部の名簿作成や部費の運用等、**事務的な仕事**をすることができる。技術指導に加え、生徒指導面でも指導もしていただけるので、**非常に心強い**。



定年退職後、部活動指導員として生徒の指導にあっている。学校や生徒のことをよく知っている人を確保することも非常に重要である。

部活動指導員（ソフトテニス部）の活用



- 月・火・水・金（それぞれ2時間程度）
土、日（どちらか一日に3時間程度）
- 技術面の指導、コート整備やあいさつ等の態度面の指導

○部活動指導員に、**専門的な分野の指導**をしていただけるので、安心している。また、週末の指導もお願いしているので、以前よりも**土日に休みが取れる**ようになり、家庭で子どもと過ごしたり、家事をしたりする時間が増えた。



木曜日は「ノー部活デー」、土、日のどちらか一日は、生徒の休養日に充てているそうだ。

スポーツ健康部「勝ち負けにこだわらず、体力向上をめざして」

- 【スポーツ健康部とは】 ※陸上部を廃止し、スポ健部を設立
- 大会に出場して結果を求めることが目標ではなく、体を動かすことを楽しむこと、体力の向上を目的としている。
 - 体力の向上を目指した「スポ健コース」と通常の陸上競技に取り組む「アスリートコース」がある。
 - 「アスリートコース」の部員は、大会が控えていない時は、「スポ健コース」に参加して、体力の向上を図る。

(小松島市小松島中学校)



股関節の可動域を広げるためのトレーニングを行っている。



両端の二人が長縄を回しながら走り、中の二人はそれに合わせて跳びながら走る。4人の息がぴったり合うと、自然と笑みがこぼれる。

【スポーツ健康部の活動内容の一例】

活動内容
柔軟性やバランス感覚を高めるための体幹トレーニング
夏場は、プールで水泳
雨天時は、校舎内でダンス
近くの海岸でビーチバレー(海岸清掃も兼ねて)

- 【スポ健部の活動について】
- ・平日の4日間のみ部活があり、休日は活動しない。
 - ・一日の活動時間は、90分間。
 - ・顧問の教員3名が指導にあたる。
 - ・一人一人の目的が違うメニューづくりに工夫を凝らしている。

スポ健部に入部して(生徒の感想)

- みんなと楽しく運動できるので、**部活の時間を楽しみにしている**。体力もついたと思う。
- スポ健コースでランニングをしているうちに**走ることが得意になり、力を試したくなってアスリートコースに入り**、大会でいい成績がおさめられた。
- サッカーのクラブチーム(外部)に所属しているが、日頃は、スポ健部でトレーニングをしている。長距離走が得意なので、駅伝大会に出場したい。大会に出場するために、**友達にも声をかけて、一緒に練習したい**。



自然と笑顔になり、楽しい会話があちらこちらから聞こえてくる。楽しみながらも、集中してトレーニングができている。

先生方にお伺いしました!

- 本校は、生徒数が減り、それに伴い教員数も減少している。これまでの部活動数のままでは、運営が難しいと感じた。まずは、**部活動数を整理し、複数顧問制にした**。また、**部活動指導員を配置し、限られた時間の中で質の高い活動ができるよう配慮した**。今後も国のガイドラインをしっかり守り、部活動の適正化に努めたい。(学校長)
- スポ健部の前は、陸上部の顧問をしていた。大会で成果を出すことに追われていたが、今はそうした**焦りを感じない**。(顧問の教員)
- 複数顧問制**なので、授業準備や生徒指導の業務がある時は、他の先生方に**安心して部活指導を任せ**ることができる。(顧問の教員)



「ゆる〜く楽しむ新しい部活動のカたち」(NHK徳島放送局とく6徳島)から引用。

優れた取組事例の周知・広報 (徳島県教育委員会)

保護者・地域への理解促進のために、「とくしまの学校における働き方改革ホームページ」や「教育通信ふれあいひろば」等の広報紙で、**優れた取組事例について積極的に周知・広報**を行っている。

とくしまの学校における働き方改革ホームページ



広報紙「教育通信ふれあいひろば」



QRコードはこちら